

2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
06020101

1. 計画名称

茅野市男女共同参画計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	男女共同参画推進会議において、区・自治会専門部会、雇用専門部会、家庭教育専門部会に分かれ、区・自治会、事業所、学校、家庭に対し啓発活動を行っている。茅野市はつつ事業所の認定事業所も順調に増え、目標に近づいている。また、男女共同参画をテーマにした川柳の募集など新たな取組も始め、専門部会を中心に活発に活動している。
今後の重点化施策番号	2	説明	地域や職場の中には、根強い性別による役割分担意識があり、意識や組織のあり方を変えていくためには時間がかかる。地域や区・自治会に男女共同参画の意識を浸透させるためには継続した啓発活動が必要である。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃からの意識づくりが大切との観点から、茅野市男女共同参画推進大会の内容を決定し実施した。 ・男女共同参画を考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳の募集を行った。小中学校を通じた周知に力を入れたため、多くの小学生から応募があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・茅野市男女共同参画推進大会の参加者を増やすためには、内容の検討が必要である。 ・市民に対し、男女共同参画を考える機会を提供し、情報発信していくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・茅野市男女共同参画推進大会は毎年開催するため、その年の目標を定め、対象者や内容を検討する。 ・川柳の募集方法を見直す。意識づくりのための方法を検討する。
2	あらゆる分野への男女共同参画の推進	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> ・区・自治会長を対象に、区・自治会の女性役員の登用状況や意識調査を行い、結果について公表した。 ・幼い頃からの意識づくりが大切との観点から、茅野市男女共同参画推進大会の内容を決定し実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長い時間の中で形成された性別による役割分担意識を変えるためには、継続した啓発活動が必要である。 ・茅野市男女共同参画推進大会の参加者を増やすためには、内容の検討が必要である。 ・市民に対し、男女共同参画を考える機会を提供し、情報発信していくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区・自治会に対する啓発活動の方法や内容を検討する。 ・茅野市男女共同参画推進大会は毎年開催するため、その年の目標を定め、対象者や内容を検討する。
3	職場、家庭において男女が共に活躍できる社会の実現	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・茅野市はつつ事業所の認定事業所が79事業所となり、目標の達成率が95%を超えた。 ・男女共同参画を考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳の募集を行った。小中学校を通じた周知に力を入れたため、多くの小学生から応募があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・茅野市はつつ事業所の認定事業所は主に製造業と建設業である。他業種の申請を増やすための取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・茅野市男女共同参画推進会議雇用専門部会と連携し、製造業や建設業以外の事業所に対し、茅野市はつつ事業所の取組について周知する。
4	男女の性の尊重と健康支援	おおむね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃からの意識づくりが大切との観点から、茅野市男女共同参画推進大会の内容を決定し実施した。 ・男女共同参画を考える機会として、市民を対象に男女共同参画をテーマにした川柳の募集をした。小中学校を通じた周知を行ったため、多くの小学生から応募があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女がお互いの特性と人権を尊重し、それぞれが能力を発揮できるよう、意識改革や環境づくりが求められている。 ・市民に対し、男女共同参画を考える機会提供し、情報発信していくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・教育専門部会において、男女共同参画をテーマにした川柳の募集や、小中学校を対象とした意識づくりのための啓発活動を行う。
5					

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など	
関連市民団体等名称	大会は、参加人数にこだわるのではなく、啓発や活動報告、問題提起の場とし、男女共同参画を推進する場として開催する。働きやすい職場環境づくりのため、はつつ事業所や一日保育士体験事業など企業に対してアピールが必要。	大会について、目標値が高すぎるため見直しをする。内容については、大会企画部会が中心となって計画し、周知方法を検討する。関係課と連携し、市内事業所へ情報提供や働きかけをする。専門部会において活動内容を検討し、継続した啓発活動を行う。	
開催回数			1
参加延べ人数			20

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」